

2022 年卒
Vol.06

4 月 1 日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2022 学生モニター調査結果 (2021 年 4 月発行)

2022 年卒の採用広報開始から 1 カ月。新型コロナウイルス感染拡大の長期化に伴い、オンライン中心の活動が広がるなか、就職戦線はどのように進んでいるだろうか。キャリアス就活・学生モニターを対象に、就職活動状況について調査を行った。取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

1. 4 月 1 日時点の内定状況

- 内定率は 38.2%。前年同期実績 (34.7%) を 3.5 ポイント上回る
- 就職先を決めて活動を終了したのは全体の 1 割 (9.9%)。大半が就職活動を継続

2. エントリー状況、選考試験受験状況

- 一人あたりのエントリー社数の平均は 24.4 社。前年同期調査 (24.6 社) をやや下回る
- ES 提出社数は平均 12.1 社。筆記 8.2 社、面接 5.0 社。いずれも前年を上回る

3. 内定承諾まですべてオンラインで進むことへの抵抗感

- 対面での接点が一度もないまま内定承諾「抵抗ある」53.9%。前年 (63.5%) より減少

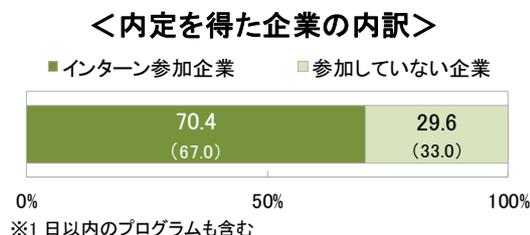
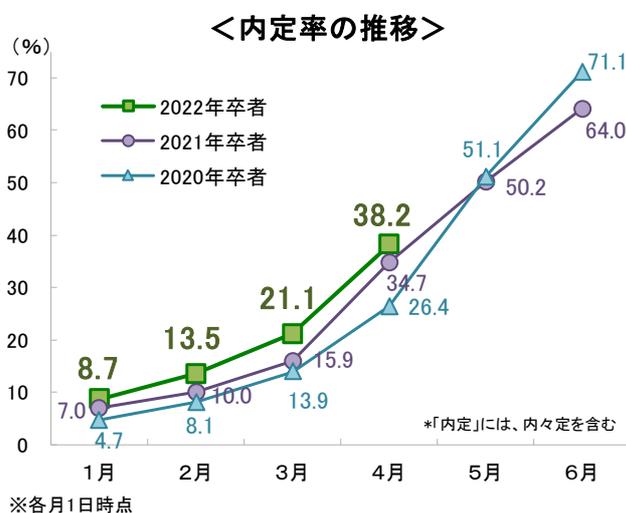
1. 4 月 1 日時点の内定状況

4 月 1 日の調査時点で内定を得ている学生は全体の 38.2%。先月 (3 月 1 日) の 21.1% から 1 カ月間で 17.1 ポイント増え、4 割に迫る高水準をマークした。前年同期 (34.7%) を 3.5 ポイント上回っており、かなり早いペースで進行している。

内定を得た企業の 7 割 (70.4%) がインターンシップ^(※)に参加した企業で、前年 (67.0%) を上回る。インターンシップ参加者を積極的に取り込みたい、という企業側の姿勢が強まっているようだ。

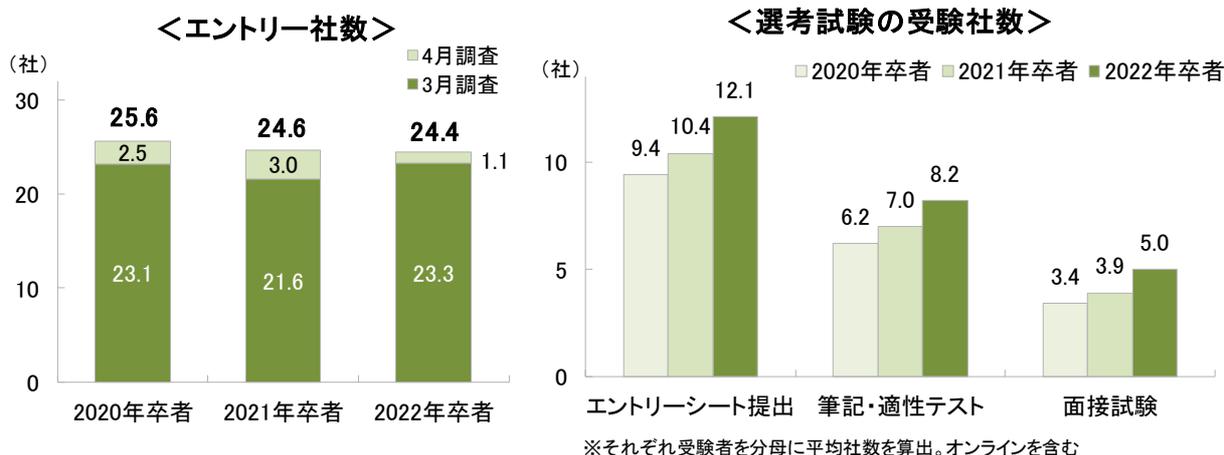
但し、内定取得学生の大半が就職活動継続の意思を示している。まだ本命企業の選考が控えているケースが多いのだろう。就活終了者 (就職先決定) はモニター全体の 1 割程度 (9.9%)。多くの学生にとって本番はこれからだ。

(※1 日以内のプログラムも含めて調査)



2. エントリー状況、選考試験受験状況

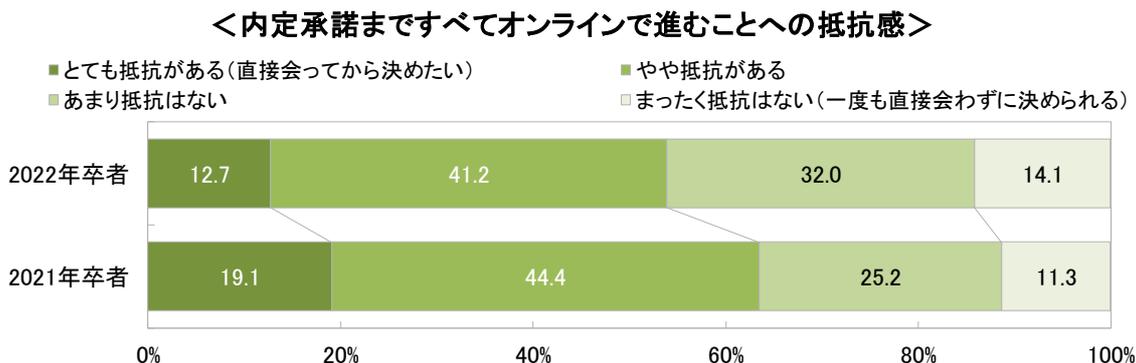
ここまでの活動量を見てみる。まず、一人あたりのエントリー社数の平均は 24.4 社。3 月調査では前年同期実績を上回り (21.6 社→23.3 社) 増加に転じていたが、この 1 カ月の伸びは鈍く、前年を下回った。一方、選考試験の社数を見ると、ES 提出社数は 12.1 社で、前年を上回るペースで提出。筆記試験、面接試験についても、それぞれ前年同期実績を上回る。選考のタイミングが前倒しになったことで対応に追われ、新たな企業に目が向きにくくなっている面もありそうだ。



3. 内定承諾まですべてオンラインで進むことへの抵抗感

コロナ禍で採用のオンライン化が広がる中、企業側と対面での接点を持たないまま内定が出るケースも珍しくなくなってきた。その場合、抵抗なく入社を決められるものか、考えを尋ねた。

「とても抵抗がある」(12.7%)、「やや抵抗がある」(41.2%)を合わせて過半数が「抵抗がある」と回答 (計 53.9%)。オンラインだけでは社風が伝わらない、自分が働く姿をイメージできない、といった意見が寄せられた。ただ、前年調査では6割強が抵抗を示していたことを考えると(計 63.5%)、急遽オンラインに切り替わった昨年の先輩たちよりは、抵抗感が薄らいでいるようだ。



調査概要

- 調査対象 : 2022 年 3 月に卒業予定の大学 4 年生 (理系は大学院修士課程 2 年生含む)
- 回答者数 : 1,262 人 (文系男子 423 人、文系女子 365 人、理系男子 337 人、理系女子 137 人)
- 調査方法 : インターネット調査法
- 調査期間 : 2021 年 4 月 1 日~5 日
- サンプリング : キャリタス就活 2022 学生モニター